

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生推進交付金事業検証シート

事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【当初:(仮称)泉州観光DMO推進事業】		担当課名	政策推進課
交付金の種類	地方創生推進交付金			
まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ	NO	基本目標		
	2	地域資源を活用した取組とんでもない泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。		
	NO	施策と取組内容	NO	施策と取組内容
	1	泉大津らしさを活かした交流を促す		

【基本目標の数値目標】

指標	現状値	目標値	R4年度実績値
市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	H29:29.2%	R6:40.0%	R4:32.6%

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域資源を本市単独で活用するのではなく、泉州地域の市町が連携し、一丸となって戦略の策定・推進や事業に取り組むことで、泉州地域への訪日旅行者数の増加を図り、ひいては本市への誘客につなげる。
(事業概要等)
「泉州」の認知度向上とさらなる誘客を図るため、一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローへ負担金を支出するとともに、連携調整会議へ出席し、より良い事業展開をめざし、積極的に意見や提案、要望などを行う。

【事業費】

項目	R4決算(見込)額	R4地方創生交付金額	R5予算額	R5地方創生交付金額
金額(単位:千円)	2,510	1,255	2,155	0
令和4年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額
	負担金、補助及び交付金			5,066

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	R4年度実績値
各イベントの集客数(対象が市民限定のイベントを除く)	H30:66,500人	R6:66,500人	R4:66,854人

(成果の概要)

新型コロナウイルス感染防止対策の要請緩和に伴い、重要業績評価指数に設定しているイベントは通常開催に戻りつつあり、集客数も増加傾向にある。また、関西国際空港における国際線の旅客数を2019年3月と2023年3月で比較すると、回復率47.1%となり、泉州地域へのインバウンド誘客という面においてもコロナ禍以前の数字を大きく下回る状況が続いている。そのような状況下において、留学生EXPOへの参加、多言語でのSNSを活用した情報発信等、引き続きアフターコロナや2025大阪・関西万博のインバウンド需要を見据え、「泉州」の認知度定着のためPR活動を実施した。また、台湾人の嗜好等に沿って作成したインターネット記事からOTAの予約サイト等へ誘導したり、ガイドツアーを造成し旅行会社やOTAでの販売を行う等、興味を持った外国人が実際に泉州を訪れることが出来る仕組みづくりを行った。

また、インバウンドガイド養成講座(泉州おもてなしセミナー)を、英語コース、中国語・韓国語コース、それぞれ基礎編と実践編の計4コース実施するなど、受け入れ環境整備の推進を図るとともに、食をテーマにしたコンテンツツーリズムの発掘と推進を行った。

【今後の方向性】

課題(問題点)及び今後の方向性	メジャーな観光資源がない泉州の各市町にとって、単独ではなく泉州地域一丸で誘客に取り組むという大きな方向性は変わらないが、KIX泉州ツーリズムビューローとともに、地域の民間企業や地域住民の協力のもと、関西国際空港から「手軽に寄れる」という立地条件など泉州地域ならではの特色をいかした着地型観光のルート開発を一つでも多く提供できるよう地域資源の創出に取り組む。 また、2025年大阪・関西万博を契機としたインバウンド需要獲得に向け、地元企業における受入体制の強化をめざした支援を実施する等、チャンスを取りこぼさない体制整備に取り組む。
-----------------	--